

1 私たちの鹿児島県について知ろう!

-1 どんな特徴があるのかな?



私たちの住む鹿児島県は、毎年多くの土砂災害が起こっています。それは、なぜでしょう？
まず、私たちの住む鹿児島県の特徴について学習してみましょう。

鹿児島ってどんなところ?

概要

- ・位置：日本本土の最南端
- ・総面積：9,186平方キロメートル(全国第10位)
- ・構成：薩摩半島、大隅半島の二つの半島と活火山のある諏訪之瀬島や世界遺産の奄美大島、徳之島、屋久島などの特色ある多くの島々からなります

地域特性

①雨が多い地域

一年を通して雨が多く、年平均降水量は2,500ミリメートル近くになります。
(平成3年～令和5年)

雨がたくさん降ると土砂災害が起きやすくなるんだって。

②強い雨が降りやすい

鹿児島県は、梅雨前線が停滞しやすく、台風の通り道であるため、6月～9月にかけて、強い雨が集中して降り続きます。

③山や丘陵が多く、平地が少ない

鹿児島県は、小さな山がとても多く平野が狭いため、山やがけのすぐ近くにも家が建てられてきました。



土砂災害の危険となりあわせて生活している人が多いんだね。



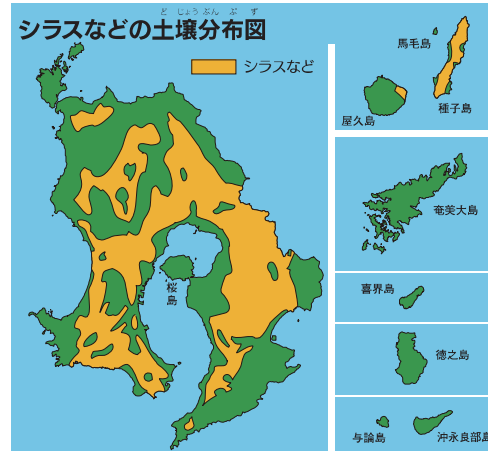
ザザ〜ツ

ゴゴゴ〜ツ

ザザ〜ツ

④火山が作った崩れやすいシラス台地

鹿児島県の本土の半分以上は、大昔の火山噴火活動で積もったシラスなどで広くおおわれています。シラスなどは、水を含むと崩れやすい性質を持っています。



※シラスなどが分布していない場所でも、さまざまな条件により、土砂災害が起きています。

⑤桜島などの活火山が多い

鹿児島県は、桜島を代表として、霧島山、開聞岳など、11の活火山があり、日本有数の火山地域です。火山噴火にともなって地震も起きます。

噴火で地表に火山灰が積もると、水が通りにくくなり、土石流が起こりやすくなるんじゃ!



特に、桜島は噴火活動が活発で、噴火したときは、噴石や火山灰が飛んできます。また、火砕流が発生することもあります。



おわりに



鹿児島県は、雨が多く崩れやすいシラスなどでおおわれているため、特に土砂災害が起きやすい地域なんじゃ。